

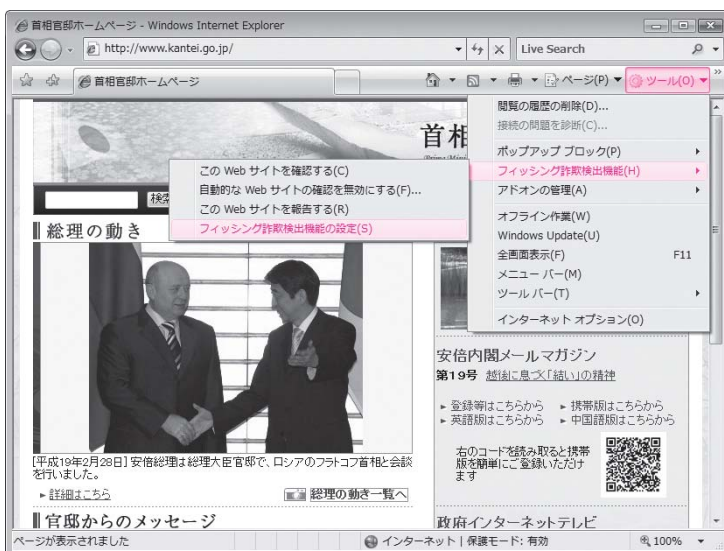
1 フィッシング詐欺サイト

銀行やクレジットカード会社、オンラインショップなどを装い、「パスワードの期限切れのためパスワードを変更してください」というような内容のメールを送付し、メール本文に記載した偽のホームページでクレジットカード番号や暗証番号を入力させ、その情報を搾取するという手口が横行しています。このようなホームページを「フィッシング詐欺サイト」といいます。フィッシング詐欺サイトでは、メールの差出人の情報を偽装したり、接続するホームページを銀行やクレジットカード会社とそっくりに作成したりと巧妙な手段が用いられます。Internet Explorerでは、次のようなチェックを行い、アクセスするホームページがフィッシング詐欺サイトの疑いがある場合には、アドレスバーに通知します。

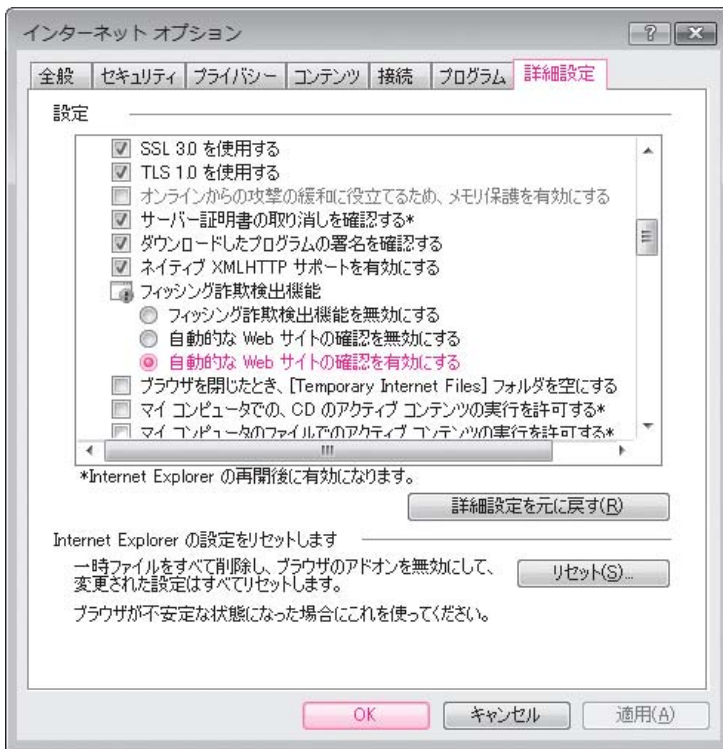
- フィッシング詐欺サイトの本物として報告されたホームページの一覧と比較する
- アクセスするホームページに、フィッシング詐欺サイトに共通の特徴がないかチェックする
- マイクロソフト社に報告された頻りに更新されるフィッシング詐欺サイトの一覧にないかチェックする

2 フィッシング詐欺検出の設定

アクセスするホームページが、フィッシング詐欺サイトかどうかを自動的に検出するように設定しましょう。



- ① ツール(Q) をクリックします。
- ② 《フィッシング詐欺検出機能》をポイントします。
- ③ 《フィッシング詐欺検出機能の設定》をクリックします。



《インターネットオプション》ダイアログボックスが表示されます。

- ④ 《詳細設定》タブを選択します。
- ⑤ 一覧から《自動的なWebサイトの確認を有効にする》をⒶにします。
※表示されていない場合は、画面を下にスクロールします。
- ⑥ 《OK》をクリックします。

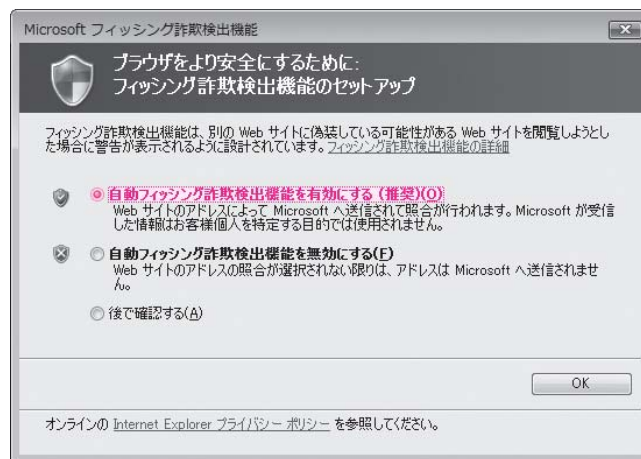


⑦ 図のようなメッセージが表示された場合は《OK》をクリックします。



フィッシング詐欺検出機能

Internet Explorerをはじめて起動するとき、フィッシング詐欺検出機能の画面が表示されます。このときに《自動フィッシング詐欺検出機能を有効にする》をⒶにすると、既定で有効に設定されます。



1

2

3

4

5

付録 1

付録 2

付録 3

付録 4

索引